



## 北陸新幹線誘致、市長の意気込みは

湊 泰孝 議員



鉄道歴史公園(JR並河駅そば)

**Q** 昭和48年2月に小浜ルートが閣議決定され、当時の1市8町で「北陸新幹線口丹波建設促進協議会」を立ち上げ、署名6万人を集め全国大会への参加も含め積極的な活動がされてきた。北陸新幹線誘致は、今後の亀岡のまちづくりを大きく変貌させることのできる世紀

の大事業である。当時最終決定権を握った田中角栄元内閣総理大臣の裁断も亀岡を通るルートに下されている。市長の北陸新幹線誘致への意気込みは、過去の経緯も含め国に対して積極的な要望を行っていききたい。

の大事業である。当時最終決定権を握った田中角栄元内閣総理大臣の裁断も亀岡を通るルートに下されている。

市長の北陸新幹線誘致への意気込みは、過去の経緯も含め国に対して積極的な要望を行っていききたい。



## 子どもの医療費、小学校卒業まで無料にすべき

並河 愛子 議員



**Q** 昨年7月から小学生的の通院医療費は、3千円を超える分が公費負担となったが、月平均対象者の約3%と少なく、子育て世代は無料化を望んでいる。

京都府は本年9月から通院について3千円を超える分を府の制度としてスタートさせる。亀岡市の負担はその

分軽減される。亀岡市以北の自治体は子どもの医療費を全て小学校卒業以上と拡充されており一番遅れている。

本市は一昨年12月議会で小学校卒業まで子どもの医療費助成の請願が採択された。実施すべきである。

**A** 制度拡充に向けて国、府に働きかけていきたい。本年7月から中学校修了前まで入院医療費を助成する市独自の制度をスタートさせる。

出てくるところからやっていきたい。



## 国際交流の現状と今後の取り組みは

日高省子 議員



**Q** 今年3月末、交流活動センター解散の経緯は。

**A** 昭和61年に設立、25年が経過する中で、市民の自由な交流活動の展開や民間団体の活動などにより、当初の目的は達成された。

**Q** 今後の取り組みは。

**A** 今年度、これまでの取り組みをまとめ「国際交流の歩みを発行する。グローバル化が進み、市内在住の外国人が増え、29カ国、887人が在住している。今後、多文化共生の取

り組みとして情報提供に努める。また、学園大などと連携し、留学生との交流機会を増やす。行政と市民の役割分担を明確にし、草の根の交流の拡大、語学講座の開催などで国際文化の理解、コミュニケーション能力の向上を図る。



## セーフコミュニティ再認証取得へ

石野 善司 議員



**Q** ①篠町、川東5町の取組み、効果は。②再認証の確認は。

**A** ①篠町では、町民主体による安全で安心なまちづくり活動。川東5町では、こどもや高齢者の見守り、交通安全地域活性化活動。地域を安全だと感じる住民の割合や地域に住むこと

の満足感が大きく向上している。②4年間の活動内容や

## 高齢者への肺炎球菌ワクチン接種公費助成を

**Q** 公費助成は。

**A** 現在、国では予防接種法の改正を、専門委員会を立ち上げ検討。その審議の対象ワケチンとして、成人用肺炎の検討がされている。国の動向を見ながら、国や府に要望も上げていく中で検討したい。